

たまねぎ

たまねぎの収量増加に

1000倍(100mℓ/10a)で3回散布が推奨です

- ◎メチオットを散布した試験は植物体の成長を健全に保ち収量が増加する傾向がみられました。
- ◎特にL大が増加し商品価値が増加する傾向が見られました。
- ◎灌注時に500倍でも使用でき収量が増加します

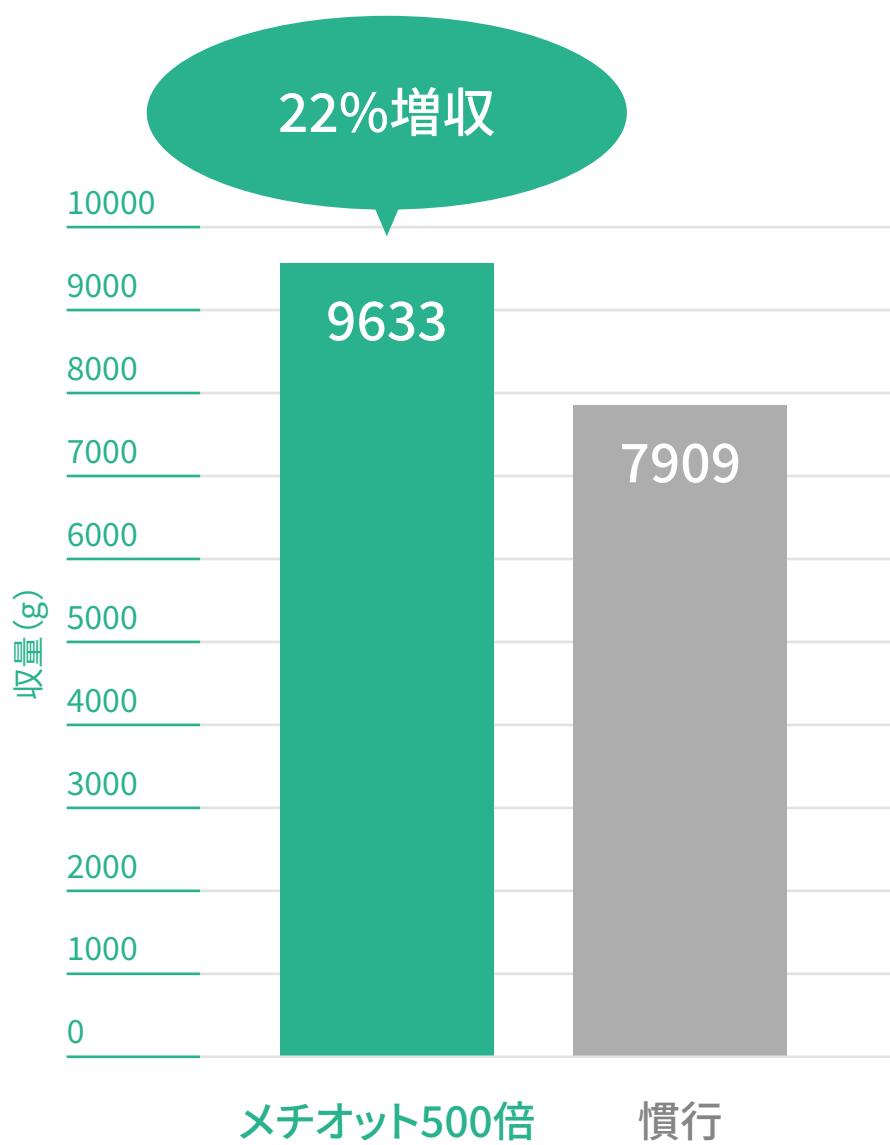
①散布による収量性試験

- 品種：オホーツク222
- 定植日：4/14(株間10.5cm×条間28cm)
- 薬量：160-180mℓ/10a(水量80-90ℓ/500倍)
- 散布日：6/21、6/27、7/4
- 調査：慣行区8/12、試験区8/15に25株×4か所を収穫し、規格別に収量調査した。

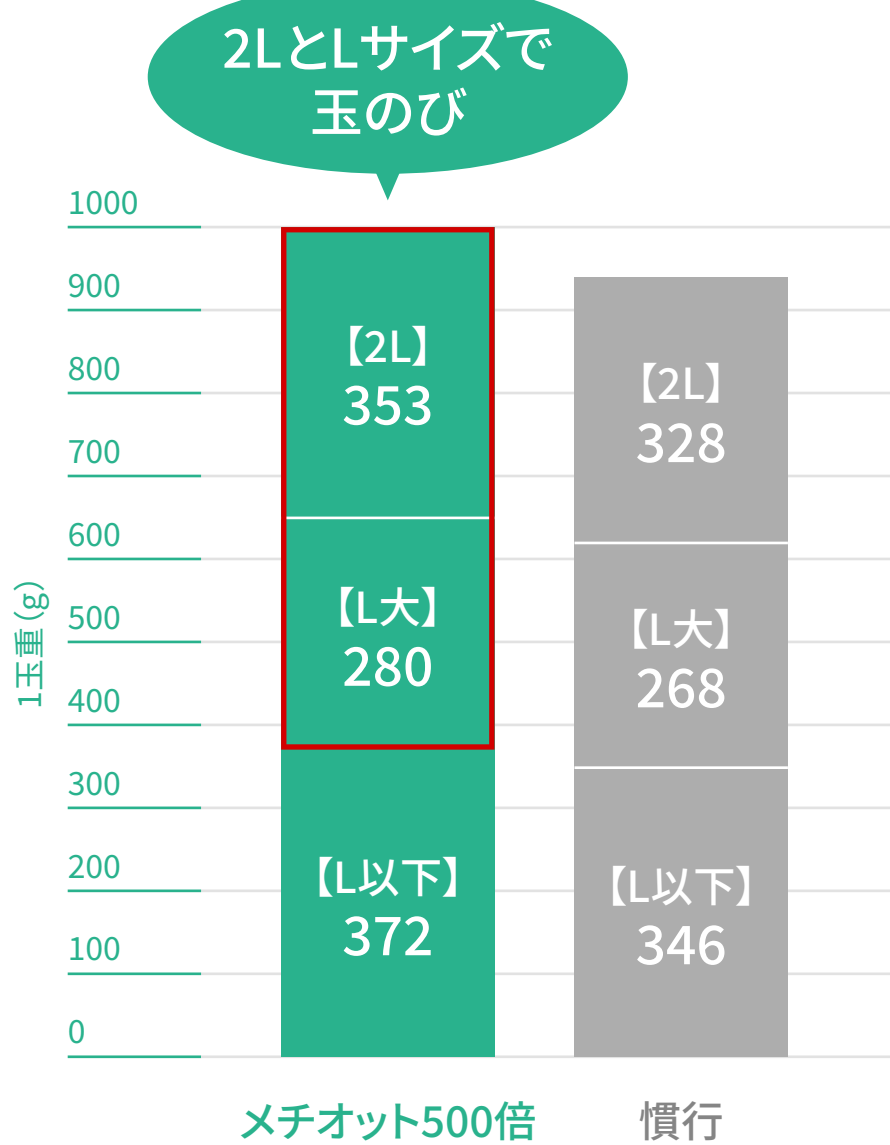
メチオットを約3回使用することで
重量ベースで約22%の増収しました！

■収量調査結果

トータル収量



規格別1玉重量



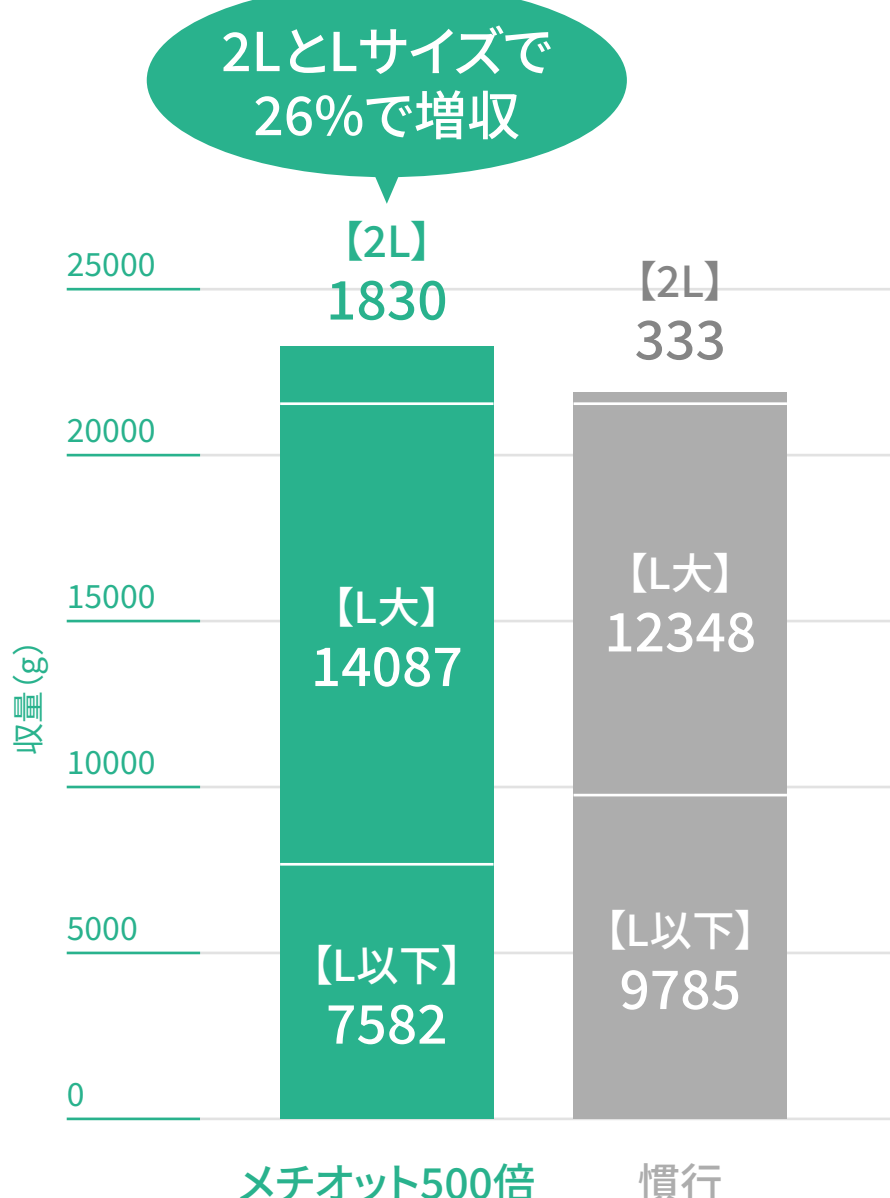
■調査考察

- ◎慣行区に比べ試験区で倒伏が早かったが、茎葉はしっかりしており、緑を保つ期間が長かった。
- ◎収量は慣行区に比べ試験区で2割ほど多かった。
- ◎慣行区に比べ試験区で球肥大が良く、一球重が高く、L以上規格の球数が多くなった。

②灌注処理による収量性試験

- 試験地：訓子府町 ●は種：3月8日 ●処理日：5月1日 ●水量：100
- 試験区：メチオット500倍液灌注施用 ●調査：8月下旬に100 玉を収穫し、調査を行った。

規格別収量



トータル収量

